

新宿駅周辺防災対策協議会訓練について

○ 実施日 平成 25 年 11 月 7 日（木）

○ 東口地域訓練 参加者数約 100 名

会場：東京都健康プラザ ハイジア

時間：13:00～15:30

<大型ビジョンによる情報発信の様子>



<負傷者対応訓練>



○ 西口地域訓練 参加者数約 150 名

会場：工学院大学新宿校舎

時間：13:00～17:30

<西口現地本部での情報共有>



<緊急医療救護所（仮）での傷病者対応訓練>



平成 2 5 年度 新宿駅周辺防災対策協議会訓練 実施要領

平成 2 5 年 1 0 月 2 1 日
新宿駅周辺防災対策協議会
新宿区区長室危機管理課

1 目的

首都直下地震発生時の人口・商業業務機能が集中する新宿駅周辺地域における、混乱防止と被害軽減に向けて、地域や防災関係機関の連携強化及び自助・共助にもとづく地域防災力の向上を図るため、実践的な訓練を、新宿駅東口地域及び西口地域において実施する。

2 基本方針

「新宿モデル」（情報収集伝達、避難誘導支援、医療連携、建物安全確認のしくみづくり）の実現に向けて、新宿駅周辺防災対策協議会を中心に各事業者や施設等における防災対策、地域連携による情報収集伝達や医療救護などの「自助」及び「共助」を基本とする訓練を実施する。

3 実施日時及び場所

- (1) 実施日時 平成 25 年 11 月 7 日（木）13:00～17:30
- (2) 実施場所 東口地域：東京都健康プラザ ハイジア
西口地域：工学院大学 新宿キャンパス

4 訓練想定

東京湾北部を震源とする M7.3 の首都直下地震が発災したと想定する。
発災想定時刻は、東口地域 13:00、西口地域 14:00 とし、同時に訓練を実施する。

5 訓練概要

(1) 東口地域 地震防災訓練		
	図上演習訓練 (10 月 31 日 13:15～)	10 月 31 日の訓練事前説明会とあわせて、避難誘导图上演習訓練を事前に実施
	実働訓練 ①東口現地本部情報 共有訓練	[東京都健康プラザ ハイジア] ○ 東口現地本部（想定）の立ち上げ ○ 情報共有（西口現地本部、新宿区災害対策本部） ○ 情報伝達
	実働訓練 ②負傷者対応訓練	[東京都健康プラザ ハイジア] ○ アクションカードを用いての災害医療への協力（負傷者発生現場、医師会、大久保病院） ○ 模擬者発生・傷病者の選別・搬送・トリアージ ○ （重症者）医療処置、（軽傷者）応急手当

(2) 西口地域 地震防災訓練		
	訓練説明会 (10月30日)	訓練の詳細および参加者の役割分担を確認するための説明会 日時：10月30日（水）15:00～17:00 会場：工学院大学新宿キャンパス 高層棟6階A-0652教室
	① 傷病者対応訓練	〔工学院大学新宿キャンパス 地下1階・1階アトリウム・2階〕 ○ 事業所での傷病者発生を想定した、傷病者観察・中軽症者の応急手当等および防災センターとの情報共有訓練 ○ 傷病者の緊急医療救護所（仮）への搬送訓練 ○ 災害拠点病院近隣の緊急医療救護所（仮）を想定した、新宿医師会および近隣診療所の医療従事者によるトリアージ、非医療従事者による情報連絡、応急手当、および搬送訓練
	② 建物被害対応訓練	〔工学院大学新宿キャンパス 地下1階・1階アトリウム・2階〕 ○ 事業所での建物被害確認およびビル内での情報伝達訓練 ○ 防災センターでの被害情報集約および被害調査に基づく建物の即時使用性判定訓練
	③ 防災センター訓練	〔工学院大学新宿キャンパス 1階アトリウム〕 ○ 防災センターでの情報集約および災害対応訓練 ○ 西口現地本部への、ビル内の災害情報伝達および情報共有訓練
	④ 西口現地本部訓練	〔工学院大学新宿キャンパス 1階アトリウム他〕 ○ 西口現地本部での情報集約および情報共有訓練 ○ 東口現地本部、新宿区災害対策本部等との防災無線およびFWA無線による通信訓練

6 参加及び協力団体（予定）

新宿駅周辺防災対策協議会参加団体及び関係事業所、新宿区医師会、大久保病院、東京医科大学病院、東京女子医科大学病院、慶應義塾大学病院、国立国際医療研究センター病院、日本赤十字社東京都支部、新宿消防署、四谷消防署、新宿警察署、工学院大学、東京都健康プラザハイジア、新宿副都心エリア環境改善委員会、危機管理対策機構、鯉沢工学研究所（順不同）

7 主催

新宿駅周辺防災対策協議会、新宿区